

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		キッズ sports Lab 柔 ~YAWARA~		公表日		2026年 2月 26日		利用児童数		33 (家庭数)		回収数		25 (家庭数)	
		チェック項目				ご意見		ご意見を踏まえた対応							
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない										
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25												
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25												
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23			2		建物の構造上バリアフリー化が難しい箇所もありますが、引き続き子ども達が安心安全に過ごせるよう配慮して参ります。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25												
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1			・子どもの特性に応じた声かけをしてくださっています。	今後も子ども達それぞれに応じた支援を行えるよう努めて参ります。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1									
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25												
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			1									
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25												
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24			1									
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	2	12	・特に希望していません。	地域の他の子ども達との関わりについては、ニーズに応じて検討して参ります。							
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25												
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1	1	3									
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	24	1			・LINEでメッセージのやり取りをしてくださり、迅速にご対応してくださいます。	LINE公式アカウントでのメッセージや連絡帳、電話等でのやり取りを通して、今後も共通理解に努めて参ります。							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25				・うちの子達だけでなくにも関わらず、いつもよく見てくださっていて感謝しております。	今後も適切な助言等の支援に努めて参ります。							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25												
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	7	4	7	・この項目は別になくても良いのではと思う。普段からきょうだいの事も気にかけていただいております。その点では支援されていると思っている。 ・きょうだいイベントはわかりません。 ・特に希望していません。	保護者同士の交流については、ニーズに応じて検討して参ります。きょうだい向けのイベントの開催等については、ニーズに応じて検討していくと共に、今後もきょうだい関係等にも配慮しながら支援に努めて参ります。							

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24			1	・いつも親身になってくださってアドバイスをいただけます。問題行動についてご対応してくださりました。	今後も迅速かつ適切に対応していけるよう努めて参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24			1	・写真で様子を見せてくださるので嬉しいです。	事柄に応じてわかりやすい表現で工夫して発信できるよう引き続き努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1			・発生してないのでいいえです。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・自分の居場所として認識しているようです。 ・不安は少ない様子。	引き続き子ども達が安心して過ごせる環境づくりに努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2			・家で一人遊びが好きなのでいいえです。	引き続き子ども達がわくわくしたり楽しめるイベントや療育を提供できるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・大変満足しております。 ・引き続き、よろしくお願ひいたします。 ・いつもありがとうございます。	引き続き子ども達や保護者の方々に満足していただける支援・療育の提供に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズ sports Lab 柔 ~YAWARA~		公表日		2026年 2月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースを確保できるよう可動（折り畳み）のデスクを使用する等を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	活動内容に応じて、パーテーションやマーカー等で視覚的にわかりやすい環境を整えている。建物の構造上バリアフリー化が難しい箇所については、職員のサポートや見守り等で対応している。	子ども達が安心・安全に過ごせるよう引き続き環境整備に努めて参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の事業所内外の掃除、使用済みの玩具の消毒等を行っている。また、自由時間や運動/柔道療育等の活動時間に合わせて、テーブルや用具の用意・片付けを行っている。	引き続き子ども達が心地よく過ごせる環境整備に努めて参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて職員がすぐに対応出来るようにしている。	集団での療育で他児もいる中、部屋や職員にも限りがある為、個別の部屋を使用する際はすぐに対応出来ない場合があるので、今後も工夫に努めて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		適宜質疑応答が出来る環境を作っている。	引き続き、外部の研修への参加や事業所内研修・療育内容等のミーティングを行い、職員の資質の向上に努めて参ります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		2025年2月公表。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで常に話しやすい環境を整え、都度アイデアを共有・立案し、実施方法等を検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		レクリエーションでは、季節に合わせたイベントやお出かけ等を行っている。また、運動/柔道療育では、定期的に内容を変更したり、日替わりのメニューもやっている。	子ども達の好みやリクエストもある為定番になる内容もあるが、様々な経験が出来るよう努めて参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		全員が発言する機会を作っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		全員が発言する機会を作っている。また、常勤と非常勤の退勤時間が異なる為、当日出来なかった場合は後日共有し、ふり返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		宿題やおやつを行う順番等様々な場面で自己選択・自己決定をする機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事前に対象児童の直近の様子等を職員間で確認・共有し、参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		引き渡しの際や必要に応じて電話等で、情報共有・連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		インテーク時に保護者や児童発達支援事業所から当時の様子を伺い、情報共有や相互理解に努めている。	必要に応じて、利用していた保育所等との情報共有や相互理解を検討して参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在対象児童なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて、こども未来センターの相談支援専門員等に相談を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			きょうだい以外の子ども達との関わりについては、ニーズに応じて検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後検討して参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や電話、送迎時等で適宜行い、必要に応じて面談を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別に相談があった際、適宜行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書を基に行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		体験時やアセスメントの際に、意向確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や連絡帳・LINE等で、いつでも相談を受け付けられる環境を整えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等の開催については、ニーズに応じて開催を検討して参ります。きょうだい同士で交流する機会については、今年度は開催出来ておりませんでした。ニーズに応じて検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎週、写真を添えて活動報告を行い、行事予定等も適宜発信している。また、指導訓練室には行事予定を掲示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもや保護者の方それぞれに合った伝わりやすいツール等を用いて、意思の疎通や伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始前にアレルギーの有無や対応の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内研修を行い、虐待防止に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事業所内研修を行い、やむを得ず身体拘束を行う場合について共有し、対象児童がいる場合は、組織的に決定し、子どもや保護者に了解を得た上で、支援計画に記載している。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズ sports Lab 柔 ~YAWARA~		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33 (家庭数)	(回答者数) 25 (家庭数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柔道の『精力善用』・『自他共栄』の気持ち子ども達にも伝わっている様子で、支え合いや助け合い等みんながみんなを思いやる気持ちを大切に過ごしている様子。	柔道の『精力善用』・『自他共栄』の考えや相手を思いやる気持ちの大切さを都度伝えている。また、年上の子から年下の子へ、長く通っている子から通い始めた子へ子ども達同士でも伝え合える環境・関係性となるよう努めている。	引き続き、現状の取り組みを行いつつ、活動の中でお互いに誰もが思いやる大切さをより感じ、関わっていけるよう環境整備に努める。
2	保護者や学校等関係機関から、子どもの相談事や情報共有をどの職員にも気軽に伝えやすい関係が築けている。	支援開始前・終了後に職員間で子どものお困り事や支援内容等の共有や検討を行っている。また、基本的に送迎等で職員の偏りなく対応出来るように調整し、それぞれが各保護者・学校等との関わりが持てる機会を作り、情報共有や連絡事項等のやり取りを行っている。	引き続き、現状の取り組みを行っていくと共に、都度ふり返りや共有を行い、より良い関係を築けるよう努める。また、やり取りの頻度が少ない保護者や学校等には様子を見ながら関わりつつ、やり取りの頻度が増えるよう努める。
3	経歴やバックボーン異なる職員間で、多面的に検討が出来たり、その職員間で相談しやすい・話しやすい関係が築けている。	朝礼・終礼だけでなく、些細な話やたわいもない話等を通して、みんなが発言する機会や発言しやすい雰囲気作りに努めている。また、それぞれの意見の交換や得意・不得意を補い合っている。	引き続き、みんなが発言する機会や発言しやすい雰囲気作りに努めると共に、お互いを認め合いながら切磋琢磨し合える関係構築を図っていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	その日の子どもの様子等をより詳しく伝えたい時になかなか時間や機会の確保が難しい。	連絡帳やLINEでは文章の為的確な表現に努めるものの、ニュアンスの伝わりにくさがある。また、送迎時の伝達は送迎場所の交通状況への配慮や複数名を送迎する為、時間の確保が難しい。必要に応じて、電話でのやり取りも行っているが、保護者・事業所双方の都合が合わない等スムーズに行えないことがある。	日々些細な様子の共有等を行い、より詳しく伝えたい時の為に様子等が把握しやすいよう、また、保護者とのより良い関係構築に努める。そして、職員の業務の分担・連携等時間確保をする為の工夫を行う。
2	地域の他の子どもとの関わる機会が少ない。	まずは事業所内でのお友達との関係構築や事業所内で安心して過ごせることを目標としていることや、希望されていない保護者の方も多い。	引き続きニーズに応じて対応を検討していく。また、ニーズや様子に応じて送迎時に出会った地域の他の子ども達(同級生等)とも関わりやすくなるよう職員からの挨拶をする等関係が築きやすくなるよう図っていく。
3	小学校卒業後の進路先や通所施設、サービス等の情報量が少ない。	既存の利用児は小学生がメインで高学年が多くなってきて小学校卒業後を見据えていく子が多くなってきたが、様々なケースがあり、情報量の乏しさを感じた。	引き続き各所の情報収集や繋がり作りに努めながら、関係機関・保護者等との情報共有や意見交換等を行っていく。また、中学生の利用児から学校での様子等を他の利用児に伝える機会も引き続き設けながら、混乱が生じないよう配慮しつつ、イメージが持ちやすくなるよう努めていく。